

県民の声を県政に届けます ——党県議が一般質問



F・POWER発電所 破綻説明を

「信州F・POWERプロジェクト」について、昨年9月議会の一般質問で旧征矢野建材の破綻を取り上げ、「発電事業が続くのかも大いに疑問」と指摘した際、知事は事業の着実な継続へ「全力で取り組む」と応じたと強調。にもかかわらず今回、発電所を運営するソヤノウッドパワーも特別清算手続き移行となり「改めて県の責任が問われる」と指摘し、製材とバイオマス発電の2つの事業が軌道に乗らず失敗したことについて知事の見解を質しました。知事は、行政の役割と責任を誠実に果たしてきたが、結果的には関係者に多大な迷惑をかけたとし、「大変心苦しく申し訳なく思っている」と答えました。

消費生活センター 集約化に反対

県内4カ所ある消費生活センターを1カ所に統合する改定案について、消費生活審議会の委員から慎重な対応を求める意見が出され、県弁護士会からも反対の意見書が出されたと指摘。寄せられる相談が複雑化し、高齢者の被害が増えるなかで、「対面相談の機会が減少し、消費者行政の後退が強く危惧される」と迫りました。

知事は「県と市町村が本来の役割分担を踏まえながらより良いものにしていく」と応じました。「現状ではあまりにも拙速、このまま通すことはできない」と強調し、党県議団は集約化を含む補正予算と条例案に反対しました。

子どもの権利条約 生かした不登校支援を

県内で小中学校における不登校が過去最多となるなかで、不登校の原因について、信州居場所・フリースクール運営者交流会が行った不登校やその傾向をもつ保護者を対象にした調査では、教師との関係を問題にする割合が一番高い一方、県教委実施の教師を対象にした調査では、要因の第一が、児童・生徒にやる気がないとなっており、大きな開きがあると指摘。保護者の問題意識を受けとめる取り組みについて質しました。その上で、子どもの権利条約を生かした支援にするためにも、子どもたちの現状を関係者間で共有でき、官と民がそれぞれの立場で懇談し、情報共有する場を設けることが必要と提案しました。

令和5年度長野県一般会計 決算を不認定

令和5年度決算は、歳入、歳出額が1兆円を上回るものの、前年度から9割程度に縮減、基金も86億円を繰り入れました。

令和5年度は、物価が高騰し県民の暮らしや営業は深刻な実態でした。こうしたなか一部県民要望にこたえる政策もありましたが、県民の強い要望である給食費の無償化、学校の老朽化した校舎や設備の改修など総じて県民の暮らしを支え、希望を持たず政策は不十分でした。また、信州F・POWERプロジェクトの破たん、リニア中央新幹線工事のゆきづまりなど、県が推進してきた事業に県民の困惑、不信が広がっています。12月13日の本会議では、以上のような問題を討論で指摘し、採決で不認定としました。

選択的夫婦別姓制度の 導入を求める意見書案可決

12月6日の県議会で、党県議団も共同提案した「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書案」が記名投票の結果、賛成31人、反対22人で可決されました。一方、自民党県議団が提出した「旧姓の通称使用の法制化を求める意見書案」も記名投票されましたが、賛成少数で否決されました。

3年前は、選択的夫婦別姓制度の議論の推進を求める意見書案が否決されていましたが、その後、県会に早期導入を求め

る大きな変化が起きました。党県議団が提出し、提案説明を行った「企業・団体献金の全面的な禁止を求める意見書案」についても記名投票が行われましたが、賛成25、反対28で否決されました。



議場で記名投票（12月6日）

暮らしの悲鳴に応える具体的な施策を——来年度予算要望

党県議団は知事に対し、来年度予算要望を重点項目18、小項目259にわたり申し入れました。長野県在住者の県立大学授業料の無料化、学校給食費の市町村と協力しての無償化、子ども医療費の完全無料化などです。



長野県庁で予算要望（12月13日）

団長は11月県議会で賛成多数で採択された「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」に触れ、「県民の運動と世論の力があつた」と述べました。草の根で寄せられた声を予算要望書としてまとめたとし、「受けとめ、反映していただきたい」と求めました。

懇談で各県議が、米の安定供給や子どもの医療費窓口完全無料化について、県として積極的にすすめる姿勢を示し、県民に安心や希望となるメッセージを発信してもらいたいと要望しました。

長野県立図書館を視察

共に知り 共に創る 誰にでも開かれた場を目ざす——リニューアルした県立図書館は心地よい空間と居場所が用意されて、図書館のイメージが一新されました。

館長から、県の予算や職員の処遇改善などについても要望をうかがい、意見交換しました。



長野県立図書館（11月27日）